

2011年6月14日開催 第559回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

田中専務 上田専務 河村編成局長 梅本報道局長 寺西制作局長
熊ラジオ局長 立野コンプライアンス室長 長富担当プロデューサー

◆ テレビ番組「旅は道ヅレ 女ふたりドイツ・ビール飲みまくり旅」について審議した。

各委員の主な意見は次の通り。

- * 有名なところじゃなく、ガイドブックに1ページしか載っていない街はなかなかテレビでやってもらえない。ふっと街の風景を見るだけで、よかったなという気になった。
- * 予想していなかった展開になるところが旅のおもしろさで、それがうまくつながっていけばいいと思う。全体が長いので、今回は非常にハッピーエンドでうまく終わったが、はずれると大はずれしそうだ。
- * タレント側が、旅の目的地と、そこに何をしに行くかを知らないということが大きなポイントであり、特色になっているが、そこがあまり生きていない。ここに関しては要一考ではないかと感じた。
- * 編集して作品にした時に、どこまでがシナリオ部分でどこまでが自然なのか。見ていた感じでは、あらかじめ結論があった。これは娯楽番組だし、やらせだと言って批判するつもりはないが、かなり危ないつくり方ではないかと思った。
- * 行き当たりばつりのちよいと危なっかしい旅の中で、ユーモラスな場面も出てきて、出会った人たちとの接し方も非常に自然で、こういう番組もあっていいんだなと思った。訪ねた街の歴史だとか文化、ビールに対する知識がもう少しほしかった。
- * 番組のコンセプトが、素人を主役ということなので、今後、どんな素人がどういう目的で何をしに行くのかについて、見るほうがどれだけ共感できるかにかかわる、そこがポイントだと思う。
- * 毎日放送が取り上げてきた旅をキーワードにした番組と比較していくと、かろうじて平均

水準という印象を受けた。素人の方を取り上げる時に、相当いい人を見つけ出さないと番組が長く続かないんじゃないか。

- ◆ 2011年3月31日に施行された「改正放送法」に新たに規定された「放送番組の種別の公表制度」の概要について編成局長が説明した。

以上